

No 65

Jul. 6th.

SMILE

ボーイスカウトの キャンパス

私達ボーイスカウトは何故キャンパスを多くやるのだから。諸君はそんな事を考えて見たい事がありますか。それはスカウト訓練の目的を考えて見ればすぐ理解出来ます。少しおぼろしくなりますがその目的というのは、(1)人格 (2)健康と力 (3)工作と技能 (4)奉仕 と以上の4つがまず上げられます。この4つを最も多く含んだ生活

それがキャンパス生活なのです。だからキャンパスでは必ず遊ばずして生活し



ます。そこに一つの社会を皆で作り上げて一人一人がその重要な責

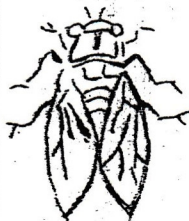
任を負う様になるのです。そしてテントを張って台所や便所ゴミ箱から薪や水のこと雨や風の事、虫や花や木の事等々自然の中で生活するのには必要不可欠な事を身につけて行きます。そのようなキャンパス生活をしたスカウトは見ちがえる程成長するのを知り得る。知ってより成長する様に努めているのです。ベーデンパウエルは「隊長の手引」と云う本の中で次のように云っています。

「私の理想とするキャンパスは、誰も彼もが気楽よく忙しく、暇はいかなる状況の下でもいつもの通りのありのまま、隊長もスカウ

トもみんな自分のキャンパスと自分の道具を心から自慢することが出来るように、こんなキャンパスである。」

実際でも経験する様にキャンパスは忙しきものです。時には雨に降り続けられたりして苦痛に感じる事さえあります。でもカマドもテントもそれからテントを張る場所も小道も何から何まで完備されていくキャンパスサイトに着いたとたんにはなつて冷たいジュースでお飲めという様な楽なキャンパスだ。たまたキャンパスが終わってからは何が残るでしょうか。諸君は反復に何の自慢話が出来たでしょうか。だから隊長隊の様は大抵は自分自身で自分を鍛え、事を考える事が望まれます。小さなスカウト達は隊長に与えられた仕事を一生懸命することを目指されるのです。

もうすぐ夏休みに入ります。今それそれの隊では夏のキャンパスの準備が大変いそがしい思いをしていますが、手際よく準備を進め、隊キャンパスで移動するのは本団では始めてその景が期待されています。5月には二級以上の人がリッパを造っての二十四時間ハイキングを計画しています。一級になる為です。年少隊は西湖で思いきって暴れます。それそれ計画は違いますが目的は同じです。それ忘れぬようにキャンパスをしたら素晴らしいキャンパスになると思えます。



☆世界 ジャンボリー

参加を前にして

少年隊長 飯田 貞雄

★参加できる巨び

スカウトは誰でも一度は世界ジャンボリーに参加したい気持ちを持っていると思ひます。そして、いっしょにけんめい努力すれば必ず実現できることもたしかなのです。ぼくもスカウト時代からこれが心をなやましていました。それが今度団はもとより親戚は多くの人々と親しい友だちによるはげましと費用の援助のおかげで、世界ジャンボリーに参加できることになりました。今はうれしさと感謝の気持ちでいっぱいです。ぼくにとってこの感激と人々の親切な行いを一生忘れることはできないことによつて、

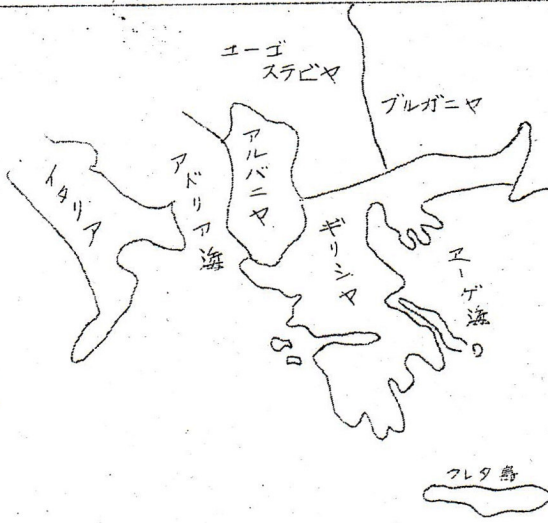
★廿一回世界ジャンボリー

一九二〇年廿一回の世界ジャンボリーが英國ロンドンで開かれてから、今年廿一回目がギリシヤのアテネ、マラソンで行われます。スカウトよ、より高くより広くモットーに世界の数ヶ国から約一才五千名のスカウトが集つて大ジャンプをくりひろげます。日本から一三〇名の代表が派遣され国際親善の役目を果たします。

★神話と伝説の国ギリシヤ

ギリシヤはバルカン半島の南東部と数数の島々からなっています。西洋文明の発しよう地であり、有名なギリシヤ神話や数々の伝説にかがやいています。ジャンボリー

サイトのマラソンは首都アテネから約ギロはなれた所にあり、オリンピック競技の一つである。マラソン競走の起りとなつたマラソンの戦(紀元前四九〇年)のあとなのです。



★くりひろげられるプログラム

八月一日の開会式にはじまり、十日の開会式まで楽しいプログラムが計画されています。交歓、パレード、アレナショウ、營火、ゲーム、スポーツをはじめとして、トリアロン(古典ゲーム)、ヘレニキメテラ(ギリシヤの舞)、タレント、オ・ラマ、ヘラクレスの競争などギリシヤの特色をあらわしたものがたくさんあります。

★ぼくの役目と日本のだしもの

日本派遣団は、本部、第一隊、二隊、三隊と四つに分かれています。ぼくは本部員としてプログラムの担当をつとめます。大營火やアレナショウのとき日本のだしものについて責任があります。日本は、日本のお祭り、八木節、をするのです。全員協賛會をしていますからさつとよいものができると思ひます。

★ヨーロッパ、三千八百キロバス旅行

ジャンボリーがはじると日本派遣団は三台のバスにのつて、ヨーロッパ大陸を旅行します。ギリシヤ、アテネから、ユーゴスラビヤ、オーストリア、西独、スイス、フランスを通つて英國ロンドンまで全行程三千八百キロの舟ちのりです。途中各国のスカウト交歓をするのをおす。ぼくはこればかりではありません。

★元氣でいってまいります

ぼくは団の代表として、また日本派遣団員として立派にやってくる事を約束します。帰つてきたら見たり聞いたり考えたりしを事を多くの人に知つてもらつた上つて報告する機会をもちたいと思ひます。しかし本当のおみやげは元氣で責任をはたして無事に帰つてくること。ジャンボリーを通して身につけたものをいかにして今よりもいふそうスカウティングのためにつとめることを信じます。またぼくの職業は教師ですから、特に各国の子どもたちや学校のことをしらべたり、目で見てきたいと考へています。言葉はうまく通じなくともスカウトの世界兄弟愛を通して心と心をふれあつて世界の平和のために少しは役目を果たしたいと思ひます。出発は七月二十八日夜十時、Aのチャーター機で羽田をたつて、帰国は九月一日つ予定ですが、みはさん、元氣でいってまいります。

6 月 の 各 隊 プ ロ グ ラ ム か ら

| 集 会 日 | 集 会 時 間 | 集 会 種 類 | 内 容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------|---------|---|-----|--------|-------|-----|-----|--------|-----|-----|-------|-----|-----|---|-----|-------|-----|-----|---|--|
| 年 少 隊 | | | 〈テーマ〉 てるてるぼうず 〈モットー〉 手足をまじりに | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 2:30~7:00 | 月例会 | ○お誕生月会(9周年式典祝会) 入隊式、模擬店等 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | 2:30~4:30 | 組集會 | ○衛生とみだしなみ ○組の箱作成 ○花の日準備 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 15 | 2:00~6:00 | 隊集會 | ○養老院の訪問 ○出し物発表 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 22 | 2:30~4:30 | 組集會 | ○組の箱完成 ○衛生と安全 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 29 | 2:00~6:00 | 隊集會 | ○野外集會 ○交友隊との交歓 ○スケッチ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 少 年 隊 | | | 〈テーマ〉 スカウトは親切です。 夜間ハイク | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 4:00~6:00 | メンバー | ○クラブ誕生日会に出発 ○56周年記念パーティーを招いてナイトハイクの相談 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | 4:00~6:00 | 班集會 | ○キヤンプロ準備 ○ナイトハイク打合せ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 15 | 22:00~ | 隊集會 | ○桑野へナイトハイク 夜11時頃より追跡ハイク | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 16 | ~12:00 | 隊集會 | ○愛生湖にて朝食 ゲーム ○沢まで歩く | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 22 | 4:00~6:00 | 隊集會 | ○夏期キヤンプロ備品、合仕 ○マツチ二本の火つけ競走 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 29 | 3:00~6:00 | 隊集會 | 白金の植物園について植物観察を行う。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 年 長 隊 | | | キヤンプロ準備 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 5:30~7:30 | 班集會 | ○クラブ 9周年奉仕 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | 5:30~7:30 | メンバー | ○キヤンプロ一回打合せ会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 15 | 5:30~7:30 | メンバー | ○花の日の奉仕 ○キヤンプロの説明 ○ゲーム | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 22 | 5:30~7:30 | 班集會 | 電算機 → 交歓と備品 作り → 食料と炊器 調理 → 会計と記録 プレザー → 作戦本部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 29 | 5:30~7:30 | 隊集會 | ○キヤンプロ打合せ ○討論会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 青 年 隊 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 6:00~8:00 | 隊集會 | <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 12.5%;">一 班</td> <td style="width: 12.5%;">加 藤</td> <td style="width: 12.5%;">小林(隆)</td> <td style="width: 12.5%;">岩 見</td> <td style="width: 12.5%;">大 川</td> <td style="width: 12.5%;">小 林(昭)</td> </tr> <tr> <td>二 班</td> <td>野 儀</td> <td>日 下 部</td> <td>大 金</td> <td>市 古</td> <td>柳</td> </tr> <tr> <td>三 班</td> <td>五 十 野</td> <td>木 下</td> <td>森 森</td> <td>矢</td> <td></td> </tr> </table> <p>の新しい編成になりました。</p> | 一 班 | 加 藤 | 小林(隆) | 岩 見 | 大 川 | 小 林(昭) | 二 班 | 野 儀 | 日 下 部 | 大 金 | 市 古 | 柳 | 三 班 | 五 十 野 | 木 下 | 森 森 | 矢 | |
| 一 班 | 加 藤 | 小林(隆) | 岩 見 | 大 川 | 小 林(昭) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 二 班 | 野 儀 | 日 下 部 | 大 金 | 市 古 | 柳 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 三 班 | 五 十 野 | 木 下 | 森 森 | 矢 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

○年少隊新入隊員紹介

一組 沢 春生 小澤和男 五十嵐哲 柳田英彰

二組 遠藤斗紀雄 盛田晋夫 高橋徹次

三組 遠藤友紀雄 佐藤一英 清原信彦

四組 舟 修 平岡和光 渡辺明夫

五組 大木 勉 飯泉英行 手塚 真

福岡文裕

○新団委員(年少隊送出)

一組 川田仁子 二組 須田美彌子 三組 御橋英子

四組 坂井静枝 五組 石川ニミ子 月の輪 今井栄

宇田川とし子 以上7氏

○五長富士野營が七月廿四日より廿八日まで山中湖畔の山中野營場にて全国より集る五長隊員により開催される。開拓作業、焼団法、調理法、ハイキング等の計画がなれている。

○青年隊ローバムートは九月三日から七日まであり小田原から山中までの移動野營の後山中でデイスカッソンを行う。

○部美化運動の爲の弁論大会予選大会が五月六日におり田圃から百隊、増田両君が参加した。が残念ながら落選した。

教 会 だ よ り

教会学校夏の修養会は次の様に決まりました。

中等科 千葉県富津海岸にて八月五日より

高幹科 十日までの間を二つに分けて行う。

小学科は教会で八月十九日より廿日までの楽しい集會を行う。

年長隊 夏期隊

年長隊長 空積 亮也

今迄B.S.でやるうと思いがかり、本格的には出来なかつたもの一つに、移動キャンプがありませう。移動キャンプとは、文字通り、一日々々キャンプを移動して旅することです。年長隊は今年はその水を入ヶ岳健走という形で行なうとしています。

準備は着々進んでいます。隊長遠リーダーを含めたグリーン・パーが夜戦本部、雷鳥隊が交通と備品、わし隊が食料と炊具、車隊が会計と記録を夫々担当しています。

八ヶ岳は長野、山梨の県境、すなわち日本のほぼ中央にでんと構えて、二八八九米の主峰赤岳をはじめ、二千米を超えたる山々が南北に連なる大々たる連峰です。私達年長隊は八月十四日の晩に東京を出発し、翌朝、中央線茅野駅にて下車、養料高原を経て八ヶ岳のド真中へ入り、うっそうとした白樺林の中から二つ、せんとあらわぬ石ような白駒岩でキャンプ。翌日は北八ヶ岳連峰を南下して夏沢峠まで、二二から南は、北八ヶ岳とは違って分かつてゴツゴツと男性的な南八ヶ岳連峰です。三日は二の夏沢峠から南へ、硫黄岳、横岳、そして主峰赤岳、少し北へ引返して今度は東側へ一気の下って海の口牧場。八ヶ岳の姿容を夏渡せ、モンボウゲ、ハルリンドウ、スズラン、ミスゲ、ナデシコ、マツムシソウなどの咲き乱れる緑の牧場です。二二で最後

のキャンプを張り、翌一八日夜、東京の予定です。キツト締つておきカフトの暖には、まだ山の空の蒼さが試つておるころでしよう。二んは夏を、私達は夏の移動キャンプに就いています。

少年隊 夜間ハイキング

少年隊は六月十五日夜より十六日朝にかけて例年通り夜間ハイキングを行った。今年の特に一五六回少年隊との合同ハイキングとして遠征くを兼ねた催しになった。夜中の十一時頃より歩み出して丹沢を同近にする沢沢左隊の養生湖を百指して四面約二十五名一五六回三十名が賑ごとと遊戯サインを送つて行った。ところが表煙の中でサインのテーパーを見失つたり、ぬかるみに足をとられ、時同通り午前三時に湖についたのはわずか三瓶のうち二瓶であった。遅れた瓶が三瓶で道にまよつともない所から現れれて来たのが三瓶であった。ともかく全員そろい二二で一五六回との混成班を作つて自炊をし、フウセン割りをして、最後沢まで歩いた。この混成班はうまくいかなない班もあつた様だがお互の刺激にはなつた様だ。沢沢駅では又二瓶が一時間半遅れて東京には正午過ぎに帰つて来て、四面は一五六回の元気を奪んだと思ふ。



各隊夏期キャンプお知らせ

七月廿一日より廿四日まで富士五湖の一つ西湖湖畔のユースホステルを使つて行なう。
少年隊
八月二日より五日まで西那須野にあるボイスカウト那須野營場で行なう。

年長隊
八月十四日より十八日まで八ヶ岳主峰の移動野營を行なう。
杉原さんウッドバッヂを伝達される

昨年夏那須野營場を行われた日本ギルウェル刀ブゴースを終了された杉原隊長に五月十二日日本連盟よりウッドバッヂが授与された。
●年少隊リーダ―講習会に戸田君青藤君が出席した。(両君とも年長隊員)

●四面の名簿が出来ませう。
●給集 後記
まづ六月号が出来なかつた事をおわび申し上げます。夏のキャンプを前にして皆様と一緒にシマツテ行きたいと思つております。

スマイルオ六五号(非売品)
昭和三十八年七月六日 発行
発行人 田中 正 男
編集人 スマイル編集係
発行所 港区赤坂南坂町十
日本ボーイスカウト東京市四団